

生ゴミ用ディスポーザー 取扱説明書

お買い上げいただいたディスポーザーの説明は、この説明書をご覧ください。

- 注：** この生ゴミ用ディスポーザーは、家庭用の適切な電源で使用するよう設計されています。それ以外の電圧やヘルツで使用すると、性能に悪影響を及ぼします。
- 重要：** 説明書をよく読み、後日参照できるように保管してください。
- 注意：** 火災や感電、人身事故を避けるために、ディスポーザーを使用する前に「安全に関する重要な説明」をお読みください。

ディスポーザーに関する重要な情報をここに記入してください。

モデル番号*

シリアル番号*

*これらの番号は、ディスポーザーの底面のラベルに記載されています。
取り付け前にモデル番号とシリアル番号を書き留めてください。

安全に関する重要な説明

**火災、感電、人身事故を避けるための重要な注意が記載されています。
大切に保管してください。**

警告 - 電気器具を使用する際は、以下を含む基本的な注意事項に常に従ってください。

1. 本品を使用する前に説明書を最後までお読みください。
2. 怪我の危険を避けるために、子供が近くにいるときに本品を使用する場合は、特に注意を払ってください。
3. ディスポーザーに手や指を入れないでください。
4. ディスポーザー内の異物を取り出すときは、電源スイッチを必ずオフにしてください。
5. ディスポーザーのひっかかりを直すときは、へらの柄、ほうきやモップの柄など、木製の棒状のものをお使いください。
6. ディスポーザー内から異物を取り出すときには、ペンチなどを使ってください。ディスポーザーが磁気駆動の場合は、非金属製の道具を使ってください。
7. ディスポーザーからはじけ飛び破片で怪我をすることを避けるために、貝殻、ガラス、陶器、プラスチック、瓶の蓋や空き缶などの金属、とうもろこしの皮などを、ディスポーザーに入れないでください。
8. ディスポーザーを使用していないときは、異物が入るのを防ぐためにシンクに栓をしておくとうよいでしょう。
9. 固い物が飛び出すのを避けるために、スプラッシュガードなしでディスポーザーを使用することは避けてください。
10. 正しいアース方法については、この説明書の「電気接続」の箇所をご覧ください。
11. 電源コードが損傷した場合は、事故を避けるために、メーカー、その営業所、販売代理店から交換部品を入手してください。

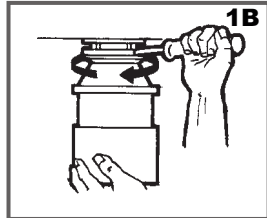
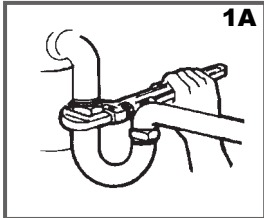
1. 古いディスポーザーの取り外し

以下は、一般的な取り外し方法で、お使いの製品によって多少異なることがあります。

この手順を開始する前に、サーキットブレーカーやヒューズボックスの電源を落とします。ディスポーザーのプラグを抜きます。

古いディスポーザーのマウントが新しく取り付ける製品と同じタイプの場合は、セクション3の組立手順を逆行するだけです。新しいマウントが別のタイプの場合は、ここに記載されている説明に従ってください。

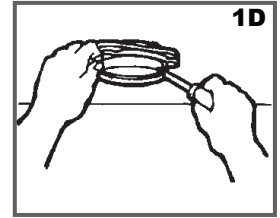
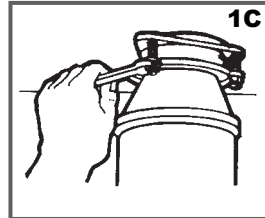
- A. パイプレンチを使って、ディスポーザーの排水管エルボーが排水本管に接続している部分を外します。(1A参照)
- B. マウントリングを左向け、シンクの上から見ると時計回りになるように回して、シンクのフランジからディスポーザーを外します。(1B参照) マウントリングがうまく回らない場合は、リングの突起部分をかなづちで軽く叩きます。マウントの突起部分が管状になっている場合は、ドライバーをこの部分に入ると、この力が働いてマウントリングが回りやすくなります。(1B参照) ディスポーザーによっては、マウントスクリーをのナットをゆるめたり、取り外すことが必要なものもあります。(1C参照) またディスポーザーによっては、クランプの取り外しが必要なものもあります。



注意：この手順を行う際には、マウント部分からマウントリングを外すときにディスポーザーが落ちないように支えてください。

- C. マウントスクリーをゆるめて、マウントリングを押し上げ、残りのマウント部分をシンクから外します。その下のスナップリングを、スクリードライバーを使って外します。(1D参照) マウントリング、保護リング、ガスケットをシンクのフランジから外します。マウントによっては、シンクのフランジを固定している大きなリングのネジを外す必要があります。シンクのフランジを引き上げ、こびりついたパテを取り除いて、きれいにします。

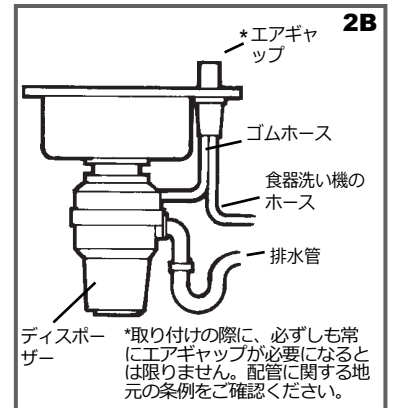
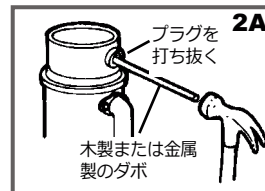
重要：新しいディスポーザーを取り付ける前に、スネークワイヤーなどを使って排水管を清掃します。



2. 食器洗い機への接続

食器洗い機を使っている場合は、次の手順を行ってください。食器洗い機を接続しない場合は、セクション3に進みます。

- A. 先の尖っていない工具（ねじまわし等）を使って、プラグを打ち抜きます。(2A参照) ドライバや鋭利な工具は使わないでください。(打ち抜いた部分がディスポーザー内に落ちた場合は、取り出すこと)。
- B. ホースクランプを使って食器洗い機のホースを接続します。(2B参照) 配管に関する規則や条例に従って、排水管がすべてしっかり接続されていることを確かめます。水を流して、漏れがないか調べます。



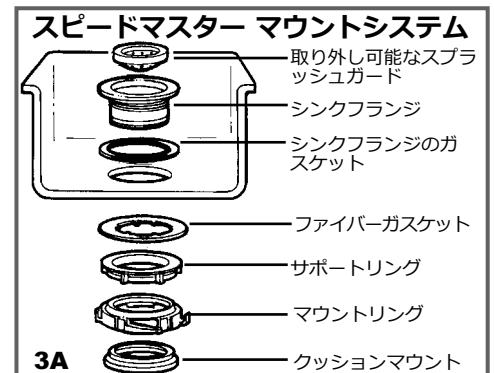
3. マウント部分の取り付け

作業を開始する前によくお読みください。

注：マウント部分は工場ですく組み立てられているので、パーツがどの順番で組み合わされているかによく注意を払ってください。(3A参照) また、図の3Gに示されているクッションマウントの細部を参考にして、クッションマウントの正しい配置に注意してください。

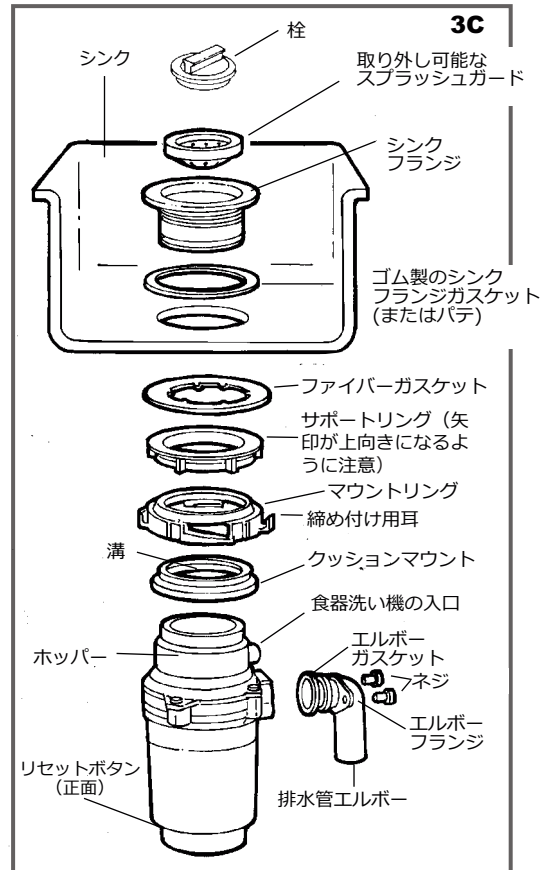
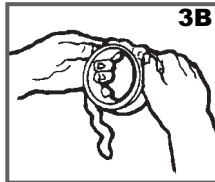
注：シンクの下で作業を開始する前に、組み立てを練習して、パーツをどのように組み合わせるか、感触をつかんでください。

- A. マウントリングを左（シンクの上から見ると時計回り）に回して、マウント部分をディスポーザーから外します。



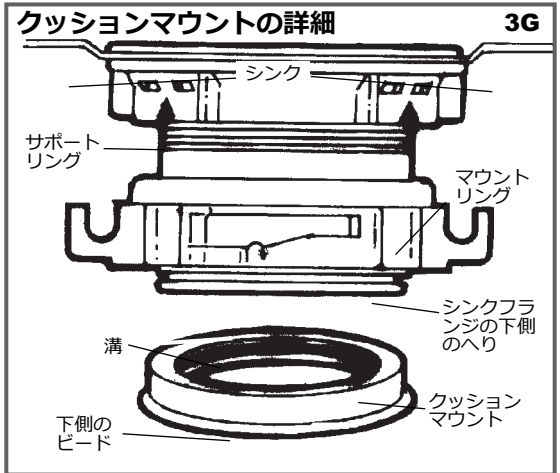
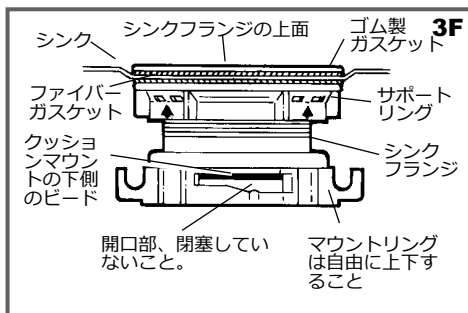
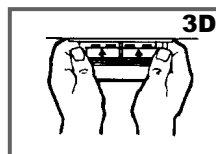
スピードマスター・マウントシステム

- B. シンクフランジの上部に向けてマウントリングを持ち上げます。クッションマウントを外し、マウントリングを外します。シンクの下で作業を開始する前に、クッションマウントの取り付けを練習します。項目Hおよび「重要な注意：クッションマウントの詳細」を参照してください。
- C. ネジをゆるめてサポートリングをシンクフランジから取り外し、ファイバークラスケットを外します。シンクフランジとゴムのガスケットが残っています。
- D. ステンレスのシンクには、配管工事用のパテではなく、ゴム製ガスケットを用います。その他のタイプのシンクではパテを使ってください。
- E. パテを使わない場合は、ゴム製ガスケットにシンクフランジを通して、シンクの開口部に取り付けます。いったんシンクフランジを固定したら、回転させないように注意してください。
- F. ガスケットの代わりにパテを使う場合は、シンクフランジの下にパテで輪を作ります。(3D参照) フランジをシンクの開口部に挿入し、しっかり押し込んで余分なパテを押し出します。(3B参照) シンクの下に入り、シンク開口部の底面の縁に沿って、余分なパテを切り取ります。
- G. シンクの下から、ファイバークラスケットをシンクフランジにかぶせます。矢印が上向きになるようにして、サポートリングをシンクフランジにネジで取り付け、シンクフランジが動かないまで手で締めます。この時点で、シンクに栓をして水を満たし、シンクフランジのシールを点検して、漏れがないことを確認します。
- H. マウントリングをシンクフランジに乗せ、押さえながらクッションマウントを(面積が広いほうを下にして)取り付け、クッションマウントの内側の溝がシンクフランジのへりにフィットするようにします。プラスチック容器に蓋をする要領で行ってください(3E、3Fおよび3Gを参照)。下記の重要な注意をお読みください。
- I. リセットボタンが手前に来るようにディスプレイを取り付けてください。



重要な注意：クッションマウントの詳細

クッションマウントが正しく取り付けられていると、シンクフランジのへりがクッションマウントの内側の溝にフィットし、マウントリングをクッションマウントの上から下向きに引っ張って回転させることができます。クッションマウントの下側のビードはシンクフランジの底面とディスプレイの上面の間でガスケットの役割を果たします。図3Gを参照してください。



4. 電気接続

- A. ディスプレーは、適切な家庭用電源にのみ接続してください。

危険： 本品のアース線が正しく接続されていないと、感電の原因となることがあります。アースが正しく接地されているか定かでない場合は、有資格の電気技師または修理担当者に確認してもらってください。プラグがコンセントにフィットしない場合、プラグを改造しないでください。資格ある電気技師に適切なプラグを取り付けてもらってください。

アース線の取り付け方法

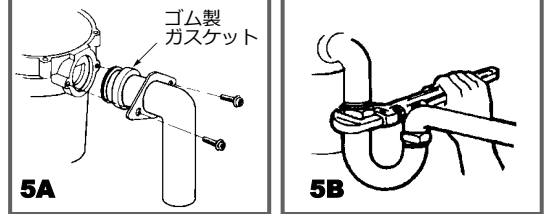
アース付きプラグを使用した電源コードを搭載したディスポージャーの場合。

- B. この装置は接地が必要です。不具合や故障が発生した場合、アースが電流に抵抗の最も少ない経路を提供し、感電の危険を抑えます。本装置はアースとアース付きプラグを備えています。このプラグは、各地域の規則や条例に従っ

て取り付けられた適切な接地付きコンセントに差し込まなければなりません。電源コードが損傷した場合は、事故を避けるために、メーカー、その営業所、または正規の専門業者から交換品を入手してください。

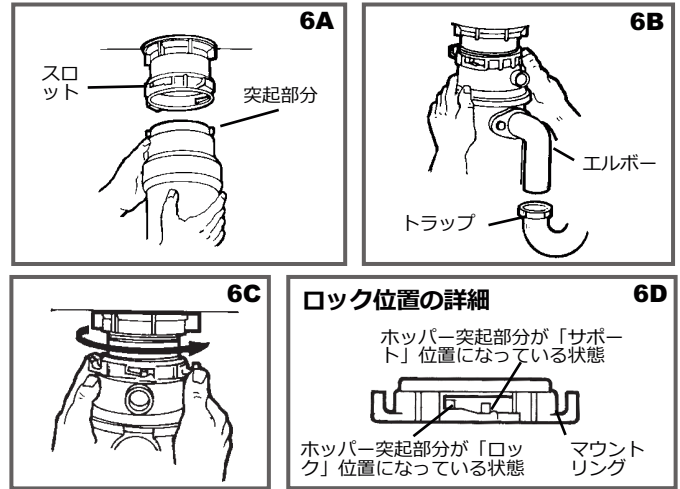
5. 排水管エルボの取り付け

- A. 排水管エルボをディスポージャーに取り付けます (5A参照)。ステップ6に進み、スリッパットを締めて、エルボの下の部分を接続します (5B参照)。
- B. 食器洗い機に接続する場合は、セクション2Bに戻ってください。それ以外の場合は、配管に関する規則や条例に従って、排水管がすべてしっかり接続されていることを確かめます。水を流して、漏れがないか調べます。



6. マウント部分への取り付け

- A. ディスポージャーをマウント部分の下に合わせます。ホッパーリングの突起部分をマウントリングのスロットに合わせます。マウントリングを5mm程度右に回して、ディスポージャーがとりあえず吊つり下がる状態にします (6A参照)。
- B. マウントリングとディスポージャーを回転させて、ディスポージャーのエルボ管がトラップ上に来るようにします (6B参照)。
- C. マウントリングがしっかり締まるまで、右 (反時計回り) に回します。固定位置になるまで、マウントリングの耳をかなづちで軽く叩きます。ホッパー突起部分は、マウンティングスロットの一番左に来ます (6Cと6Dを参照)。
- D. マウントリングが回しにくい場合は、少量のワセリンや洗剤をホッパーの突起部分に塗布してください。水を流して、水漏れがないか調べます。



7. 使い方

噛み込み防止用スイブル回転部は、最初に作動させたときに所定の場所に入るまで、カチカチという音がします。これは正常な動きです。

- A. シンクの栓を外し、中程度の水流で水を流します。
- B. スイッチをオンにすると、ディスポージャーのモーターがフル回転して、生ゴミを粉砕します。
- C. 生ゴミを入れます。食べ残し、野菜や果物の皮、種、小骨、コーヒーの出がらしなどを粉砕できます。大きな骨や繊維の多い生ゴミは粉砕に時間がかかります。粉砕中にモーターの速度が遅くなるのは普通なので、心配はありません。これは、モーターのトルク (粉砕力) が高くなっている状態で、正常の動作です。

- D. 生ゴミがすべて粉砕されたら、水を15秒ほど流してからディスポージャーのスイッチを切ります。これによって粉砕された生ゴミがすべてトラップ部分を通過して、排水管に流れたことを確認します。
- E. ディスポージャーを使うときには温水は流さないようにします。冷水は、粉砕物や脂肪分を固形状態に保つので、ゴミが排水管内に付着しません。

上手に使うために

- A. 食器洗い機を使うときは、正しく排水するように、ディスポージャーが空になっていることを確認してください。
- B. ディスポージャーを使用していないときには、シンクに栓をして、フォークやスプーンが誤ってディスポージャーに落ちないようにご注意ください。
- C. お買い上げいただいたディスポージャーは、耐久性に優れ、長年にわたってご愛用いただけます。通常の生ゴミは、簡単に処理できますが、プラスチック、空き缶、瓶の蓋、ガラス、陶器、皮革、布、ゴム、糸、貝殻、アルミフویل、羽根などは、処理できませんので、ご注意ください。

8. 掃除と手入れ方法

ディスポーザーには、潤滑剤は不要です。

モーターは潤滑済みで、耐久年数中再度の潤滑は不要です。ディスポーザーは、本体自体に洗浄作用があり、毎回使用するたびに内部が自動的に洗い流されます。

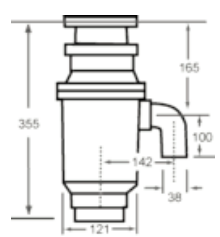
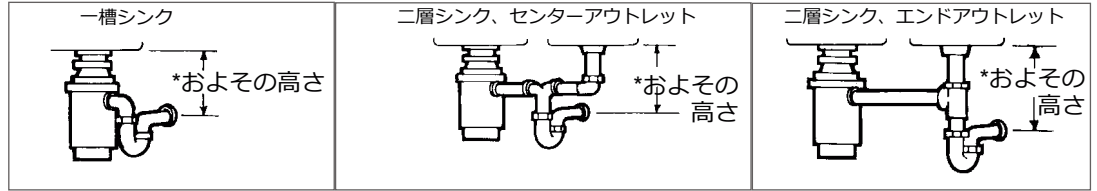
苛性ソーダや化学薬品を用いた排水管洗浄液は、絶対に用いないでください。ディスポーザーの金属部分をひどく腐食さ

せる原因となります。これらを使用した場合は、保証が無効になります。ステンレススチール製のターンテーブルに水道水のミネラル分が付着して腐食しているように見ることがあります。ステンレスのターンテーブルは腐食しないので、これは心配いりません。

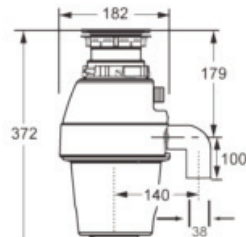
一般的な配置

* 寸法はmm表示です。

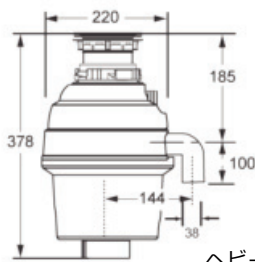
スタンダード	235
ミッドデューティ	260
ヘビーデューティ	260
デラックス	260
プレミアム	260



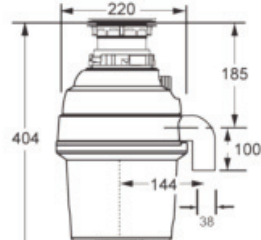
スタンダード



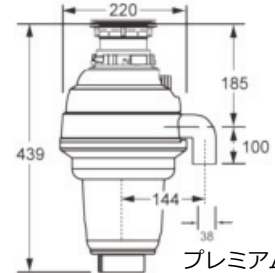
ミッドデューティ



ヘビーデューティ



デラックス



プレミアム

9. トラブル・シューティング

修理や交換を考える前に、以下を読み、それに従ってチェックしてみることをお勧めします。

大きな音がする：(小骨や果物を粉碎する以外の音)：スプーンや瓶の蓋などの異物が誤ってディスポーザーに入ると、こうした大きな音がします。ディスポーザーのスイッチを切り、水を止めます。ディスポーザーが停止したら、スプラッシュガードを外し、長い柄などを使って異物を取り除き、スプラッシュガードをもとに戻します。

ディスポーザーが作動しない：お使いの機種によって、電源コードをコンセントから抜くか、壁のスイッチまたはブレーカーボックスのスイッチをオフにします。シンクの栓とスプラッシュガードを外します。木製のほうきの柄を使って、ターンテーブルが回転するか調べます。ターンテーブルが回転するようであれば、スプラッシュガードをもとに戻し、正面になる赤いリセットボタンが落ちていないか調べます。このボタンをカチッという音がするまで押し入れます。

リセットボタンが落ちていない場合は、ディスポーザーの配線にショートや損傷がないか調べてください。電源スイッチ、ヒューズボックス、サーキットボックスを点検してください。配

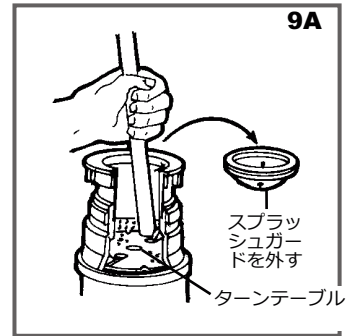
線や電気部品に問題がない場合、装置の内部に故障があり、修理や交換が必要なが考えられます。

ターンテーブルがうまく回転しない：ディスポーザーのスイッチを切り、ターンテーブルとグラインドリングの間に異物が挟まっていないか調べます。ほうきの柄でターンテーブルを回転させながら(9A参照)、異物を取り除きます。何も挟まっていない場合、装置の内部が故障している可能性があります。

水漏れ：上部から水が漏れる場合、以下が考えられます。

1. シンクフランジが正しく密封されていない(ガスケットが中心から外れている、パテ、締め付けに問題がある)。
2. サポートリングが正しく締まっていない。
3. クッションマウントが不良または正しく取り付けられていない。

排水管エルボーから水漏れする場合は、エルボーフランジのネジが正しく締まっていないことがあります。



アナハイム ジャパン リミテッド
〒105-0001
東京都港区虎ノ門1-12-13 笹の屋ビル3階
080 (2728) 7556
03 (3902) 7333
www.AnaheimJapanLtd.com
Email: ContactUs@AnaheimJapanLtd.com

Headquarters: Anaheim Marketing International
www.AnaheimMarketing.com
Email: ContactUs@AnaheimMarketing.com